

右事項ノ明確ニスル為メ本覺書其通ノ作成ニ各々通リ係
持ス

大正十五年七月二十七日

八千代生命保除株式会社

秘書課長 田村直宣

八千代生命交渉團 小川一三

代表者 矢嶋功

代表者 鶴見弘

日本俸給生活者組合聯盟

代表者 蜂谷惠

代表者 田崎一夫

代表者 関東俸給生活者組合

代表者

別記

演説要旨

第一席

被解雇者

古谷野好四郎

然々ハ入社ニ際シテ嚴重ナル体格検査ト試験トニ依リ入社セリ然ルニ会社人
不景氣ヲ口實トシテ去ル本月十七日体格検査ヲ行ヒ八十余名ヲ病氣ニシテ職ニ堪
エザル名ノ下ニ解職シテ街頭ニ放リ出シタリ此ハ吾人莫産者ニ取リテ人
一大脅威ニシテ又一面無能者トシテ烙印ヲ押サレタルモノナリ然ニテ
此ハ資本家ノ横暴ヲ語ルモノナリ、今回ノ職首ハ吾々ノ食ヲ奪ヒ職托セシ
メントスルモノナルヲ以テ吾人ハ飽ク迄戦ヒ俸給生活者ノ地歩ヲ確實
ニナサバレル可ラスニム々

第二席

関東俸給生活者組合

渡邊喜作

今回ハ千代生命ノ辛議ハ従前ノ資本家并労働者ノ辛議ト同シク資本
家并莫産者ノ反目デアルト前提ニ轉来本件ノ如キ同題ハ日本ニノミニ止マ
ラズ世界ニ波及ス可キ形勢ヲ示セリ従来俸給生活者ハ筋肉労働者ニ比シ上位
置ニアリシモノト考ヘラレタルモ目下ハ俸給生活者ハ筋肉労働者ト何事
リナキモノナリ